

消費者行動 ( 2 ) まとめ売り \*

まとめ売り

「まとめ売り」: ひとまとめでしか売らない場合 ( 分割販売を行わない )

単品販売される場合でも , 一般に ,

単品販売時の価格 ( 単価 ) > まとめ売り時の単価

となる傾向にある

例) 乾電池

単品販売 1 本 130 円

まとめ売り 4 本 480 円 ( 1 本あたり 120 円 )

8 本 880 円 ( 1 本あたり 110 円 )

消費者 A の ( 電池の ) 需要関数 :  $x = -\frac{p}{10} + 15$  ( 逆需要関数  $p = -10x + 150$  )

・ 単品販売

単価 130 円      需要量 2 本   =>   消費者余剰    = 10 円

・ まとめ売り

4 本 :   消費者余剰   =   総支払用意    (520) - 実支払 480 = 40 円

8 本 :   消費者余剰   =   総支払用意    (880) - 実支払 880 = 0 円

まとめ

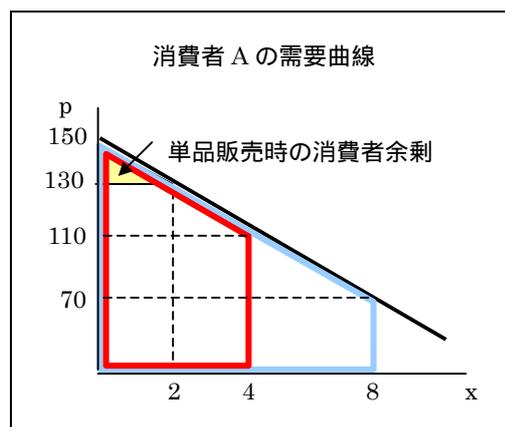
- ・まとめ売りによる単価低下は、必ずしも、消費者余剰の増加につながるとは限らない。

=> 「余剰の搾取」の可能性

- ・実際の販売方法

複数のパック ( まとめ ) を用意

単品販売する店も近年増えてきている



【問題 2】

まとめ売りによる「余剰の搾取」とはどういうことか説明せよ。

消費者のニーズに合わせるため、販売店ではどのような売り方をしたらよいか？